



議会だより

第58号

平成28年5月発行

編集：議会広報委員会

発行：大和村議会

☎ 0997-57-2216(直)

FAX0997-57-2967

〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100



防災センターこけら落とし「奄美歌謡と島唄の共演」

主な内容

第3回定例会 一般質問（5人）	2～5
平成26年度決算を認定	6
平成26年度 決算審査委員長報告	7～10
平成26年度 決算審査意見書	11
第3回定例会・議会の動き	12～14
第4回定例会 一般質問（5人）	15～19
第4回定例会	20～21
議会の動き・編集後記	22

第3回 定例会 一般質問(5人)

平成27年第3回定例会（9月）において、5名の議員が一般質問を行い、マイナンバー、社会保障税番号制度、親子留学、文化財の管理、人口減少対策などについての行政施策をただしました。なお、質問及び答弁要旨については次のとおりです。

(9月11日 本会議)

**マイナンバー社会
保障、税番号制度
について**

（個人番号）通知後の
必要性、使用方法、申
請手続き等について住
民への説明はどのように
に行うのか。また、本
村のセキュリティ対策
はどのようなものか。

（答弁）広報やまとへの
掲載、区長会での説明を行つた。住民への説明会を9月下旬を目安に全集落で行い住民の理解を求
めています。個人番号カードの申請は強制ではない。あくまで本人に任せることで、この段階で罰則とか、不利益が生じることはあり

（答弁）個人番号制度の申請をしなかつたらどうなるのか、それによる何らかの罰則や、不利などがあるのか。

（個人番号）カード通知後の
必要性、使用方法、申
請手続き等について住
民への説明はどのように
に行うのか。また、本
村のセキュリティ対策
はどのようなものか。

（答弁）広報やまとへの
掲載、区長会での説明を行つた。住民への説明会を9月下旬を目安に全集落で行い住民の理解を求
めています。個人番号カードの申請は強制ではない。あくまで本人に任せることで、この段階で罰則とか、不利益が生じることはあり

（答弁）個人番号制度の申請をしなかつたらどうなるのか、それによる何らかの罰則や、不利などがあるのか。



奥田忠廣 議員

地域商品券について

地域消費喚起生活支援型予算において地域商品券を配布されたが、村民へのどのような説明がなされたか。配布条件が、子育て世帯、住民税非課税世帯であり、汚水対策は万全なのか。情報漏洩が国民の一番の心配事である。

（答弁）社会的弱者等に商品券を支給し生活支援を行うのが趣旨。説明会は実施せず、広報誌でのお知らせや対象者へ通知後、支給を行つた。村民からも基準等が分かりづらいとの問い合わせがあり、対象者へ支給する

（答弁）通常の設計積算による工事は、汚濁防止対策費用として積算している。重機借り上げによる工事については積算していない。今後重機借り上げ工事についても予算計上したい。今でも、沈砂池は設計に入っているので、業者への指導、汚濁防止の徹底を図りたい。

ません。申請することにより、顔写真付きの身分証明にもなり、各種申請書の簡素化や、社会保障、納税関係の申請にも役立つと思われる。

だけでなく、住民に分かりやすく伝えるのが責任。今後このような事がないよう住民説明会を開き、理解を求めたい。

土木事業について

ねこ対策について

(答弁) 野良猫を含む全ての動物は法律により保護されている。現在TR事業で、野良猫がこれ以上増えないように避妊去勢手術を行っている。また後継者育成も必要と思うがいかがか。



池田幸一 議員

女性活躍推進法について 伴う女性登用について

され、各種施策を推進することで風土を変えたい。適材適所の人事配置を行い、今後女性管理職の誕生もあり得る。

厚生労働省から示された策定内容、取組内容は理解しているか。

今里集落で親子留学制度があるが、他校区に引っ越したら助成はどうなるのか。名音校区で制度が出来たら助成されるのか。

(答弁) 女性推進法をどのように受け止め、どのような取り組みを行うのか。男性優位の風土をどのように変えようと思うか。女性登用で人材育成プランが必要ではないか。

(答弁) 推進法が成立したばかりで、具体的な数值目標や計画策定は協議していない。大和村男女共同参画基本計画が策定

親子留学について



民文忠 議員

再任用について

(答弁) 公的年金の支給なぜ再任用が必要か。また後継者育成も必要と思うがいかがか。

(答弁) 親子留学制度は現在今里校区のみで、他の校区への引っ越しは助成の対象にはならない。他の校区で親子留学制度の活用があれば助成制度を進めたい。校区により再任用した。今後も制度を活用し人材確保に努めたい。

(答弁) 親子留学制度は詳細に把握していない。推進法が出来たからではなく、男女共同参画基本計画に基づき、男性、女性が同じ立場で頑張れる状況をつくりたい。

(答弁) 推進法が成立したばかりで、具体的な数值目標や計画策定は協議していない。大和村男女共同参画基本計画が策定

(答弁) 野良猫を含む全ての動物は法律により保護されている。現在TR事業で、野良猫がこれ以上増えないように避妊去勢手術を行っている。平成28年度の奄振の事業に5市町村で要望するよう取り組んでいる所です。

大和村議会議員政治倫理条例の周知について

文化財の管理及び活用について

大和保育所の活性化について



正 藏 議員

大金久防災会館建設工事工期遅れにより発生する費用の取扱いについて

誠に遺憾である。今後このような事が発生しないよう、職員一同気を引き締めたい。

工期遅れにより発生した当初予算外の金額を示せ。また、予定外の費用が発生した場合その取扱いの村民への説明責任について。

法的手段をとり、損害賠償を請求するのが筋ではないか。指名停止だけで終わるのか。

(答弁) 弁護士へ相談し、今後の対応を考えていく。

(答弁) 補助金の減額や辺地債の償還等で265万1000円の負担増。発注者として大変残念で

(答弁) 条例の周知については議員発議であり議員活動の中で周知して頂きたい。村長自身の政治倫理については、何らかの形で検討したい。職員へは周知を図りたい。村民の声に対しても反省し、職員の意識改革に努める。

(答弁) 開饒神社は、宗教法人として登記されているので、村としては、管理運営に関われないと認識している。日本遺産登録はかなりハードルが高いので、奄美大島で広域的に取り組んでいる奄美遺産登録を視野に入れている。群倉については、今年度は補修作業をしたことのある方々に指導を依頼し、後継者の育成を図ることを計画している。

(答弁) 開饒神社の位置づけ及び管理体制、日本遺産に登録し観光拠点に利用すべきでないか。群倉の管理移転について。

(答弁) 開饒神社は、宗教法人として登記されており、村としては、管理運営に関われないと認識している。日本遺産登録はかなりハードルが高いので、奄美大島で広域的に取り組んでいる奄美遺産登録を視野に入れている。群倉については、今年度は補修作業をしたことのある方々に指導を依頼し、後継者の育成を図ることを計画している。

(答弁) 他市町村の保育所等の児童福祉施設を視察しながら、大和村に活かせるものを検討する。

おやつ代のみの自己負担で保護者は大変喜んでいる。しかし保育内容について不評も聞こえる。保育士の意識改革、研修また自慢できる保育所確立は出来ないか。



勝山 浩平 議員

人口減少対策と 地域の活性化策に ついて

働く場所の創出に ついて

国直と根瀬部間のトンネル開通に合わせ、本村の人口減少対策や地域の活性化策の充実を図るべきではないか。

(答弁) 産業、就業の中心である奄美市地区のベッドタウンの役割を担う考えもあり、子育て支援策の充実により人口減少対策を図っていく。

(答弁) 農林水産業や新規起業者への助成金につ

農林水産業や商業、観光業などの起業(創業)も働く場所の創出につながるが、起業(創業)しやすいように融資や保証への支援や設備投資、販路開拓などへの助成金・補助金の創設など総合的な支援策を図っていくべきではないか。

(答弁) これまで提案

企業誘致の推進や起業(創業)において、光ファイバーの整備がとても重要なになっているが、本村の整備計画の進捗状況はどのようになっているのか。

(答弁) これまで提案

地域が主体となつた自主的な取り組みが有効であり、各地域で話し合いをしていただくよう昨年の8月に区長に話をしている。

住宅不足のために児童確保へ向けた取り組みができるない校区があるが、定住促進住宅など住居整備を推進していくべきではないか。

(答弁) 名音校区が親子留学に取り組む場合、村

にては、これまで提案があり協議中である。起業(創業)支援は地方創生総合戦略の中で取り組まなければならない。村独自の施策も併せて、企業誘致条例なども改正しながら検討を進めていきたい。

(答弁) 児童確保のためには今里親子留学のように、今里校区で大きな成果を上げている親子留学制度を名音校区や大棚校区でも実施していくべきではないか。

(答弁) 制度化の導入は、住民の一致した意向と地元主導により円滑にいくものだと考える。集落から要望があれば親子留学制度を、大棚、名音でも導入をしたい。

小学校の児童数 確保について

本村は現存の各小学校を存続させる方針だが、新たな児童確保策を講じるべきではないか。

として応援できるように体験用に住宅を1戸確保している。集落が親子留学の導入に取り組む場合、必要に応じて住宅の確保を優先的に進めていきた

平成26年度決算を認定

平成26年度の一般会計及び各特別会計決算は、決算審査特別委員会に付託され、最終本会議で決算審査委員長報告（7面に記載）があり、採決の結果、8会計の全てが認定されました。

なお、各会計の決算状況は次のとおりであり、決算委員会では各種滞納額について、各委員から集中質疑がなされました。

平成26年度の各会計決算

会計名	歳入総額(A)	歳出総額(B)	差引額(A-B)
一般会計	32億5446万4千円	31億0041万6千円	1億5404万8千円
(各特別会計)			
簡易水道事業	9239万7千円	8286万4千円	953万3千円
国民健康保険	2億8663万8千円	2億7577万9千円	1085万8千円
大和診療所	9877万8千円	9632万4千円	244万7千円
介護保険	2億8705万9千円	2億7931万2千円	774万7千円
集落排水事業	4億7901万7千円	4億4746万1千円	3155万6千円
大和の園	1億9943万1千円	1億9308万9千円	634万2千円
後期高齢者医療	2736万6千円	2653万4千円	83万2千円
会計計	47億2515万0千円	45億177万9千円	2億2337万1千円

※（差引額は平成27年度予算へ繰越）

過去7年間の滞納額推移（未納額）

（単位：万円）

種別 年度	村民税	固定資産税	住宅使用料	国民健康 保険税	その他 (水道料・ 介護保険料等)	滞納額合計 (一般・特別 会計の合計)
20	382	355	596	995	187	2,515
21	332	393	767	1,146	241	2,879
22	314	402	999	1,108	169	2,992
23	398	433	995	1,016	200	3,942
24	324	370	925	939	170	2,728
25	113	299	1,060	807	186	2,465
26	55	159	973	744	173	2,104
20・26 の比較	327万円減	196万円減	377万円増	251万円減	14万円減	411万円減

●25年度と26年度を比較すると滞納額が減少している。村民の協力を得て滞納減少に努めてもらいたい。

平成26年度 決算審査委員長報告

平成26年度

決算審査特別委員会

委員長 藏 正

果表及び監査委員の意見書などをもとに、詳細に審査を行いました。

般会計歳入歳出決算の概要についてですが、平成25年度からの繰り越し分

より1・9ポイント悪化しています。経常収支比率も91・8%と前年度より1・3ポイント弾力性が悪化した数値を示しています。

0万円減少しており、特別会計においても全体的に減少傾向にある事は喜ばしいところであります
が、簡易水道及び集落排水会計において増加している事は、回収意欲に油断があるようと思われます。これまで、毎年指摘

を繰り返されている点から考えても、事務嘱託員も含めた、公共料金の回収体制の強化が望まれます。

後期高齢者医療会計の滞納金を含めて、未だに2千万円を超える滞納額が存在することを肝に銘

本一般会計歳入歳出決算認定をはじめ、認定第2号から認定第8号までの、平成26年度各特別会計歳入歳出決算の認定を求められた件の審査は、3日間の日程で審査を行い、9月10日に主な事業箇所の現地調査を行いました。

また、9月16日から17日までの2日間は村長をはじめ、副村長、教育長及び各課長ほか、関係職員の出席を求め、提出された決算書や主要施策成

を含め、翌年度への繰り越し分を除いた決算額においては歳入総額32億5千446万4千円、歳出総額31億41万5千円で、差し引き1億5千404万9千円の黒字決算となつており、翌年度へ繰り越すべき財源、8千292万5千円を差し引いた、実質収支額においても7千112万4千円の黒字決算となつています。

一方 地方債の残高は、昨年より5千3百万円減額の、31億3千783万円となり、実質公債費比率も11・6%と前年度に比べ1・3ポイント改善されています。基金についても、前年度保有額に対して、1千179万2千円の増額となり、総額で10億5千788万9千円となっています。



決算審査委員会

及び各課長ほか、関係職員の出席を求め、提出された決算書や主要施策成

決算となっています。
財政力指数は0・07、
依存財源の構成比86・8

さて、昨年厳しく指摘のあった、滞納額については、前年度比で約29

築出来ないか、各事業の実績を精査し、きめ細かい支援策になるよう見直しを願いたい。

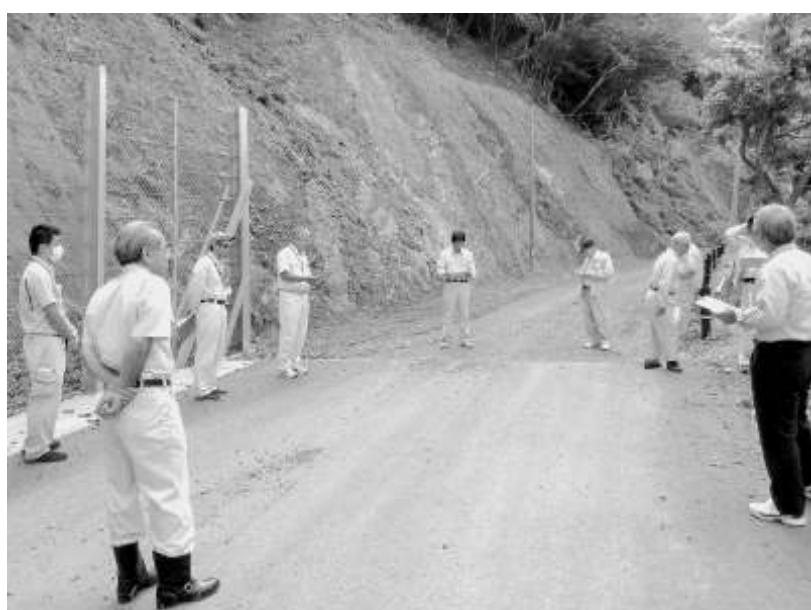
農業生産振興助成事業は、農作業の委託を中心利用者が増えています。農作業受託班が解散した状況の中で、各集落における支え合い活動の支援の輪を広げることで、この事業がさらに活用され、高齢者の元気と耕作放棄地解消策にも繋がる事業ですので、市場集出荷業務委託事業と併せて、大いに宣伝し限度枠の拡大も検討してもらいたい。

スモモやタンカンをはじめとする、本村特産品については、トップセールスや主管課の都市圏におけるPR活動により都



決算審査委員会

列・販売の機会を得てお



現地調査（大棚名音線改良事業）

り、既にスモモのドライフルーツは大好評です。原料不足が懸念されると市圏のニーズに対し、本村のイメージを特化した加工品の開発が急務です。

大和まほろば館については、夏場のかき氷が好評です。市内から広くアイディアを募集して加工品コンテストを開催し、優秀商品を本村特産品として支援する等、如何にしてこだわりの商品を開発するか、斬新な企画が望まれるところです。

市内から広くアイディアを募集して加工品コンテストを開催し、優秀商品を本村特産品として支援する等、如何にしてこだわりの商品を開発するか、斬新な企画が望まれるところです。

次に、歳出決算における各事業等の執行状況を見ると、農業振興については、昨年度同様、村単独による農業振興確立支援事業で果樹苗木購入助成や土づくり支援・堆肥等購入助成等が図られ喜

じていただきたい。

ばれていますが、スモモの苗木生産の不良が続く

中で、本村独自の苗木の改良も考えていくべきで

いに宣伝し限度枠の拡大も検討してもらいたい。

スモモやタンカンをはじめとする、本村特産品について

は無いか、また、肥料価格が著しく高騰している

中で、規模の大きい農家に対して経営規模や実績

は、農作業の委託を中心利用者が増えています。農作業受託班が解散した状況の中で、各集落における支え合い活動の支援の輪を広げることで、この事業がさらに活用され、高齢者の元気と耕作放棄地解消策にも繋がる事業ですので、市場集出荷業務委託事業と併せて、大

いに宣伝し限度枠の拡大も検討してもらいたい。

スモモやタンカンをはじめとする、本村特産品について、トップセールスや主管課の都市圏におけるPR活動により都

評で雑入95万円を含めた収入は約178万円と伸びてはいるものの、専属の人員配置により経費が約715万円で赤字経営が続いています。しかしながら、店舗売り場を利用した加工品や農産物の販売額が約741万円に上り、生産者の大きな収入源となっています。今年度はすでに、ソフトクリームが絶好調で、秋から冬場の企画次第では大躍進も考えられ、年度決算の注目を集めどころであります。村がステージを造り、村民が有効に活用して成果を發揮する優良事例になる取組であり、「まほろば館」が村の情報発信基地としての確固たるステージに定着できるよう更なる展開を期待します。



現地調査（実証農園整備状況）

昨年度から実施されている燃油助成事業は漁協正組合員漁船登録者に喜ばれており、意欲向上に繋がる事業であります。出漁の確認がされずに安易な支出になっている状況は改善して頂き、事業効果や平等性について検証しながらより良い支援策を検討していただきたい。

「産業振興基金（仮称）」の創設については年度中の設置はかないませんでしたが、就農意欲や起業意欲の奮起を目的に、引き続き制度資金や振興開発基金等の資金と連動して利用しやすい本村独自の特色ある基金の創設を望むものであります。

「奄美の自然が学べる公園」と位置づけた取組をして頂きたい。奄美の木々の名称を正式名と方言名で学習できるように、名札を下げる等、「工夫を凝らして公園に足を運んでもらい、リピーターを確保する」という観点から考えてもらいたい。

次に、保健衛生については、今年度も村民一人一人の健康維持増進、また健康についての知識向上を図るため、各種集団検診や健康相談・訪問指導が効果的に実施され、元気度アップ・ポイント制度もその効果を發揮し住民に喜ばれているところです。

滞納額については、国

保会計で7・8%、介護

会計においては30・7%

と減額したことは大きいに

評価するところですが、

前述のとおり、簡易水道

集落排水の両会計で増額

となっています。回収行

為の油断が、滞納額増長

の元になる事を念頭に置き、未済額の発生を徹底的に防いでいただきたい。

また、簡易水道事業においては、浄水場、浄化槽の管理について管理道路も含めて、徹底されない状況が伺えます。水源は「住民生活の源」です。徹底した管理に努めていただきたい。

大和の園特別会計については、介護職員の処遇改善加算が行われましたが、介護職以外の職員には困難いか検討して頂

きたい。

最後に、監査資料の取

り扱いについて、平成26

年度の監査の実施に当た

り、大金久防災会館整備

事業で工期遅れが発生し、

予定外の費用が発生して

います。この取扱いにつ

いては専門家に相談しな

がら進めるとのことであ

りますが、このような事

態を受けて、監査委員か

ら、「事業を請け負う業

者についてその健全性を

指名願い等の資料から判

斷したく、提出を求めた

ところ、個人情報の観点

から提出できないと拒否

され、請負業者の資格等

について充分な監査は出

来ていない」と聞いてお

ります。全国町村監査委

員協議会に問い合わせた

ところ、「機密資料等、

監査に提供できない正当

な理由が付される資料を

除き、提供されるべきで

あり、また、監査委員に

生涯に渡り守秘義務が課

せられている観点からも、

監査に提供されない資料

は極めて限定される」と

の事でしたが、今回監査

委員から提出依頼のあつ

た書類について、提出で

きなかつた理由を詳細に

説明願いたい。

大金久防災会館整備事

業に係わる工期遅れによ

り発生した費用の取扱い

については、村民が強く

関心を寄せる事件となっ

ており、業者の健全性に

ついても村民から不安視

する声が上がっています。

村民の不安を払拭するた

めにも当局の説明責任を

果たしていただきたい。

最後に、当委員会では、委員長の報告と併せまし

て、議会の意見を次のとおり取りまとめています

ので、意見書として取り

上げて頂くよう申し上げ

まして平成26年度決算審

査特別委員会の委員長報

告を終わります。



現地調査（防災センター建設現場）

平成26年度 決算審査意見書

- 1、滞納額については、回収意欲に油断を來さぬように、未だに2千万円を超える滞納額が存在することを肝に銘じて、事務嘱託員も含めた、公共料金の回収体制の強化を図って頂きたい。
- 2、村単独による農業振興確立支援事業で本村独自の苗木の改良も考えていただきたい。また、肥料価格が著しく高騰している中で、規模の大きい農家に対して経営規模や実績等に見合った支援策が構築出来ないか、各事業の実績を精査し、きめ細かい支援策になるよう見直して頂きたい。
- 3、農業生産振興助成事業は、農作業受託班が解散した状況の中で、各集落における支え合い活動の支援の輪を広げ、市場集出荷業務委託事業と併せて、大いに宣伝し限度枠の拡大も検討して頂きたい。
- 4、スモモやタンカンをはじめとする、本村特産品については、村内から広くアイディアを募集して加工品コンテストを開催し、優秀商品を本村特産品として支援する等、如何にしてこだわりの商品を開発するか、「まほろば館」の活用と併せて斬新な企画を望みます。
- 5、燃油助成事業は、出漁の確認をとる等、事業効果や平等性について検証しながらより良い支援策を検討して頂きたい。
- 6、「産業振興基金(仮称)」の創設について、就農意欲や起業意欲の奮起を目的に、引き継ぎ制度資金や振興開発基金等の資金と連動して利用しやすい本村独自の特色ある基金を創設して頂きたい。
- 7、フォレストボリスを「奄美の自然が学べる公園」と位置づけた取組をして頂きたい。奄美の木々の名称を正式名と方言名で学習できるように、名札を下げる等、「工夫を凝らして公園に足を運んでもらい、リピーターを確保する」という観点から考えて頂きたい。
- 8、他人に相談出来ない悩み事を抱える村民が存在することを、常に意識し「法律相談窓口」の周知について徹底して頂きたい。
- 9、また、簡易水道事業においては、浄水場、浄化槽の管理について管理道路も含めて、徹底されていない状況が伺えます。水源は「住民生活の源」です。徹底した管理に努めて頂きたい。
- 10、大和の園特別会計については、介護職員の処遇改善加算が行われましたが、介護職以外の職員に対しても村単独の改善策は図れないか検討して頂きたい。
- 11、監査資料の取り扱いについて
大和村が発注する、事業を請け負う業者の健全性を確認する監査において、提出依頼があったにもかかわらず、提出されなかった関係資料について、その正当な理由の説明をして頂きたい。
今後の公共事業の展開の中で、村民に対して業者の健全性をどのように開示していくつもりか、監査資料の提供等も併せて説明して頂きたい。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出致します。

平成27年 9月24日

大和村長 伊集院 幼 殿

大和村議会議長 宮田 到

第3回 定例会

平成27年第3回（9月）定例会が9月8日～24日（17日間）まで開かれ、平成26年度一般会計及び各特別会計の決算認定をはじめ、平成27年度補正予算や請負契約、条例改正、請願・陳情などの議案が審議され、すべての議案が可決されました。

可決された議案は、次のとおりです。

決算認定

平成26年度一般会計及び各特別会計決算の審査は、決算審査特別委員会（委員長 藏 正）に付託され、3日間にわたる慎重な審査を経て、8会計決算の全てが全会一致で認定されました。

(※決算認定関係は7面
10面に記載)

た。 などが増額され、歳出においては、財政調整基金の積み立てをはじめ、地方改善施設整備事業やマイナンバー制度への移行経費また、空き家改修費等が予算計上されまし

主な補正は次の通りと
なっています。（※ 一

○電算管理費（マイナンバーサービス）
636万円増

○財産管理費（財政調整基金積立金）
1億700万円増

○社会福祉費（大和浜地 区排水対策費）

予算

(補正内容) 島入においては、一般会計からの繰

入金や前年度決算に伴う
繰越金が増額され、歳出

●平成27年度一般会計 補正予算（第2号補正）

○ 地方交付税
1億684万円増
○ 国庫補助金（地方改善施設整備等）

○住宅管理費（思勝地区
空き家改修）
2210万円減
1900万円増

補正額
2億629万5千円

○国庫補助金（地方改善施設整備等）
2017万円増

空き家改修)

● 平成27年度 国民健康保険特別会計補正予算

予算総額

○県補助金

補正頃

(補正内容) 歳入においては、地方交付税や国庫

6112万円増

予算総額

●平成27年度 簡易水道 事業特別会計補正予算

○村
債
1440万円減

補正額

58万3千円 増額

第4回 定例会 一般質問(5人)

平成27年第4回定例会（12月）において、本村議会初日曜議会を開催しました。5名の議員が一般質問を行い、道路環境整備、人口減少対策、親子留学制度、平成28年度予算編成、大金久防災会館工期遅れなどについての行政施策をただしました。なお、質問及び答弁要旨については次のとおりです。

(12月20日 本会議)

雨災害により側溝の蓋板
が流失破損しており、危
険防止のため設置してい
る。今年度地方改善施設

(答弁) 平成22年奄美豪
雨災害により側溝の蓋板
が流失破損しており、危
険防止のため設置してい
ます。今年度地方改善施設

役場裏通りに敷いてある鉄板の除去について

役場裏通りの三叉路の鉄板が、自動車が通るたびにがたがたとなり周辺の方々は迷惑をしているが撤去はできな
いか。

整備事業を導入し、村道の改修側溝工事を予定している。3月完成予定で、側溝完成後鉄板を除去したい。

荒巻川河川沿いのガードレール設置について

小さい事故は何度か発生している。人身事故にならぬうちにガードレール設置を早急にしてほしい。荒巻地区

(答弁) 明日にでも調査を行い、早急に撤去したいと考えている。

荒巻川河川沿いの川にシイの木が倒れており、川を横断している。洪水の場合農家に迷惑がかかる。現地調査をしてほしい。



梅畠茂和 議員

(答弁) 農家の皆さん方が利用している道路は、村道台帳や農道台帳に管理されていない。管理方法や安全対策について、詳細な現地調査を行い検討したい。

で農業をしている方、通行する方の安心・安全が大事と思うが村長の所見は。

議会を傍聴しましょう

議会の定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)
行われます。 お問い合わせ先 ☎57-2216(直通)

国が打ち出した人口減少対策、地域活性化につなげる日本版CCR構想を離島版CCRに位置付け、垣根を越えた取組も構築すべきではないか。（人口減の大きなテーマは雇用の場：昭和25年頃の村の人口は6,500名。林業やカツ才行が盛んだった。）

人口減少対策について

（答弁）総合戦略に提案されている各種事業（雇用の場も含む）は、民間のワーキンググループや懇話会委員の意見も数多く吸い上げており、村民総ぐるみの取組と考えている。CCR構造については、村のまち・ひと・しごと総合戦略策定の中で類似事業の提案もあり、今後、併せて検討を進める。Uターン者、Iターン者も含めて、移住しやすい社会をつくるこ

（答弁）結いの心を持ち、みんなで自助・共助・公助の中で、村づくりをしていく。住みよい大和村、住んでみたい大和村という心にしていくことが大切。



池田幸一議員

とが大切。

大和小学校の校区 対象集落への親子留学制度の導入について

大和小学校の児童数推移はどうなっているか。大和小校区の集落でも親子留学制度を導入するべく、制度の対象地域の拡大を図るべきではないのか。

（答弁）27年度から32年度において大和小児童数は30名前後で推移。大和



勝山浩平議員

ゼロ歳児からの保育について

28年度中の実施に向け、現在どのような進捗状況か。また、現在、名瀬でゼロ歳児保育の施設を利用している世帯への支援策として送迎費や保育料の助成を講じていくべきではないか。

(答弁) ゼロ歳児受入れには乳児室・ほふく室・保育士増員などが必要で、財源確保など総合的に判断し、困難であるとの結論に至った。村としては、村のへき地保育所に入るまでは民間施設を利用、そのためにどのような助成がよいのかということを早急に整理・対応したい。

(答弁) 学校給食は低年齢児向けではなく、発達段階や健康状態に応じた幼稚食の提供やアレルギー、アトピー等への配慮の為、調理員の増員が必要となる。無理をして給食提供時刻の調整を行うと給食事故も心配される。今の設備で対応できるかという問題も含め、学校からの外部搬入方式は困難という結論に至ったが、今後、他の市町村を参考に検討したい。

給食提供について

学校給食センターから の外部搬入方式による へき地保育所での給食サービスの検討について、その後の取組状況はどうか。

(答弁) 学校給食は低年齢児向けではなく、発達段階や健康状態に応じた幼稚食の提供やアレルギー、アトピー等への配慮の為、調理員の増員が必要となる。無理をして給食提供時刻の調整を行うと給食事故も心配される。今の設備で対応できるかという問題も含め、学校からの外部搬入方式は困難という結論に至ったが、今後、他の市町村を参考に検討したい。

村の政治倫理条例の制定について

6月に大和村議会議員政治倫理条例を制定する過程で、村全体の条例制定も近いうちに検討を進めるということだつた。現在どのよう

な検討がなされているのか、又、今後の取組についてはどうか。

(答弁) 政治倫理条例の目的は、公職にある者が私的な利害関係によって公職の随行を妨げられることがあつてはならないことを認識し、村民全体の奉仕者としてその人格と倫理の向上に努め、いやしくも事故の地位による影響力を不正に行使して、自己の利益を図らないこと。これまでも公職選挙法や地方自治法を遵

守して業務を遂行し、今に努めたいと考えております。特に急いで条例制定をしなければならないという認識はしていない。

年内完成は困難となつたが、村民向けのパブリックコメントを行い、来年2月策定を目指している。

村の地方創世総合戦略について

12月の前には大和村独自の具体的な施策を示せるということだつたが、どうなつているか。

(答弁) 民間のワーキンググループや役場若手職員から意見を集めて協議した結果、43の施策案を作成、推進本部で優先順位をつけた。まんべんなく網羅する計画ではなく、選択と集中で戦略を実施することで活力みなぎる元気な村を目指すイメージで作成している。課題

本村の最優先課題予算
は何か。人口対策、高
齢化対策、過疎対策を
含めどのような行政計
画を立てているか。

平成28年度 予算編成について

（答弁）最優先課題予算

交流人口の拡大、③農林
水産の振興による村の活
性化、④子育て支援及び
教育環境の充実、⑤道路
交通網、情報通信網、生
活環境の整備促進、⑥防
災力の強化、高齢者福祉
の充実による安全・安心
な村づくり、⑦定住促進
の充実・強化による人口
減少対策）の推進に努め
る。従来の定住促進対策
事業の継続や、新たに地
方創生総合戦略で取り組
む事業等があるので、充実
拡大、定住促進対策。行
政計画については、7つ
の基本方針（①行政改革
の推進による健全財政の
確立、②観光振興による
の中では、男女とも高齢

（答弁）移動規制発表以
來、テックス板、誘殺板
の空調散布や集落内園地、
村道一帯への取り付けや
トラップの増設、果実調
査を実施、国・県・奄美
5市町村で連携して早期
根絶に向け取り組んでい
る。大和市へは状況を説
明し、今後の対応策も情



奥田忠廣 議員

者の働く場所も必要。シ
ルバー人材センター設立
となるのは別としても、
28年度中に準備ができる
いくと考えている。

ミカソコミニバエ再 侵入による奄美柑 橘類の移動規制につ いて

（答弁）県・国の行政への説明
はどういう内容か。神
奈川県大和市に行つて
いるタンカンPR販売、
今後の対策はどうなつ
ているか。

（答弁）国はミカソコミニ
バエの1世帯が1か月と
見ており、3世帯の確認
のため3か月としている。
買上方法について、販売
実績がない場合は自家消
費用価格適用となる。廃棄
の場合は事務手続き後、
湯湾釜選果場で検量と買
い上げを行い、廃棄命令
後に村の建設残土場で埋
設する。

（答弁）行政運営に影響
があつたとは認識してい
ない。津名久防災会館の
指名については、部外に
これを漏らしてはならな
いという規則があるので
答弁は控える。採用につ
いては防災無線等で公募
をして体制づくりをして
いる。応募がない中、働
きたい村民にチャンスを
与える対応として職員や
議員の配偶者ということ
もあり得ると思つてはいる
が、それが条文に該当す
るのかは今後調査したい。

大和村議会基本条 例及び大和村議会 議員政治倫理条例 について

報提供して進めていく。

条例にふさわしい行政
運営がなされているか。
(津名久防災会館の指
名競争入札で3月指名
落札業者を指名から排
除した理由は何か。議
員の妻や姉妹が本村臨
時職員として採用され
ていることについてど
う考えるか。)



正 藏 議員

大和村独自の未就学児保育体制の確立について

人口維持対策として、生産世代、子育て世代の生活環境についてどのように認識しているか。

大金久防災会館建設工事工期遅れにより発生した、村の負担金に対する取組について

監査資料の取扱いについて

指名願等の書類が監査資料として提出されなかつたのはなぜか。

9月議会では損害賠償請求も併せて検討するということだつたが、経過はどうか。

(答弁) 口頭要請であり、閲覧の明確な理由がなかつたので提出をしなかつた。今後は文書で依頼を受けた後に提供したい。監査委員に示せる個人情報の範囲についても調査を行なう。

ぐべきとの結論に至り、今議会でも訴訟委託料の承認をいただいた。具体的な日程等については、現在未定の状況。

幼児向けの英語教室開催などの対応を行つた。保育の質の向上のため保育士は研修等に参加しており、要望や意見についても保育士と担当課で月1回話し合えるよう努めている。

その他の寄生植物は公表された買上額や廃棄処分方法の周知を図りたい。

ミカンコミバ工対策について

廃棄処分について、放園地の把握とその果実の取扱いについての対策はどうなつてあるか。その他の寄生植物の取扱いはどうなつてあるか。

(答弁) 人が入れない遊林農地や山間部の農地は把握できており、区長会等で情報提供を依頼中。果実の取扱は大和村果樹会等で協力依頼をして進めたい。寄生植物の取扱いは集落作業等を通して駆除や廃棄処分を依頼、

本村独自の保育体制整備に対し、保護者の要望をどう把握し、課題をどうとらえるか。

(答弁) 出産から高校卒業まで切れ目のない支援で子育ての負担軽減を行い、親子留学等でも人口維持対策を行つてゐるが、今後も地方創生事業などを通して、支援策の充実を図りたい。

(答弁) 基準日（2月22日）以降にミカンコミバエ種群の誘殺が確認されない場合は収穫可能。有札が確認された場合は、半径5km以内が特定移動制限区域に指定され、廃棄処分の対象となり、出荷規制が実施される。ポンカン・タンカン農家については、今議会で肥料助成の承認をいただいており、今後の移動規制の対象品目についても支援を行つていただきたい。

第4 定例会

平成27年第4回（12月）定例会が12月9日～20日（12日間）まで開かれ、一般会計及び各特別会計の補正予算をはじめ、条例改正・制定や議員提出による発議などの議案が審議され、すべての議案が可決されました。

可決された議案は、次のとおりです。

● 平成27年度 一般会計 補正予算（第3号）		● 平成27年度 簡易水道 事業特別会計補正予算 (第2号)		● 平成27年度 大和診療 所特別会計補正予算 (第 2号補正)		● 平成27年度 漢方整体 事業特別会計補正予算 (第2号)	
予 算 （歳入）	援金 （歳入）	予 算 （歳入）	補正額 （歳入）	予 算 （歳入）	補正額 （歳入）	予 算 （歳入）	補正額 （歳入）
○被災者生活支援基金支 援金	260万円増	○国庫補助金（地方創生）	補正額	○総務管理費（緊急支援 交付金）	補正額	○農林水産業費（ミカン コニバエ関係）	補正額
9417万9千円	1930万円増	○県支出金（ミカンコニ バエ対策費）	90万円 増額	157万円増	155万6千円 増額	1625万円増	155万6千円 増額
予 算 總 額	28億2658万2千円	○財政調整基金繰入金 (歳出)	5000万円増	○総務管理費（損害賠償 費用訴訟費）	5000万円増	予 算 總 額	3595万8千円
（補正内容）歳入におい ては、地方創生先行型上 乗せ交付金やミカンコニ バエ対策費及び財政調整 基金繰入金などが増額さ れ、歳出においては、ミ カンコニバエ対策費や共 同受信施設地デジ改修助 成金などが増額されました。 た。	（補正内容）歳入におい ては、一般会計からの繰 入金が増額され、歳出に おいては施設管理費が増 額されました。	（補正内容）歳入におい ては、外来収入や前年度 決算に伴う繰越金が増額 される一方、一般会計か らの繰入金が減額され、 歳出においては、一般管	（補正内容）歳入におい ては、一般会計からの繰 入金が増額され、歳出に おいては施設管理費が増 額されました。	（補正内容）歳入におい ては、一般会計からの繰 入金が増額され、歳出に おいては施設管理費が増 額されました。	（補正内容）歳入におい ては、一般会計からの繰 入金が増額され、歳出に おいては施設管理費が増 額されました。	（補正内容）歳入におい ては、一般会計からの繰 入金が増額され、歳出に おいては施設管理費が増 額されました。	（補正内容）歳入におい ては、一般会計からの繰 入金が増額され、歳出に おいては施設管理費が増 額されました。
（歳入）	（歳入）	（歳入）	（歳入）	（歳入）	（歳入）	（歳入）	（歳入）

主な補正是次の通りとなっています。（※一万円未満切り捨て）

主な補正是次の通りとな
っています。（※一万
円未満切り捨て）

予
算
總
額

○農林水産業費（ミカン
コニバエ関係）
1625万円増

補正額
（歳入）

3595万8千円

増額

（補正内容）歳入におい
ては、一般会計からの繰
入金が増額され、歳出に
おいては施設管理費が増
額されました。

● 平成27年度 国民健康
保険特別会計補正予算
(第2号補正)

補正額
（歳入）

155万6千円 増額

予
算
總
額

9524万4千円

（補正内容）歳入におい
ては、外来収入や前年度
決算に伴う繰越金が増額
される一方、一般会計か
らの繰入金が減額され、
歳出においては、一般管

理費や医業費が増額されました。

●平成27年度 介護保険特別会計補正予算（第2号補正）

補正額	予算総額
66万9千円 減額	2億622万3千円

●平成27年度 集落排水事業特別会計補正予算（第2号補正）

補正額	予算総額
450万円 増額	450万円 増額

●平成27年度 大和村税賦課徴収条例の一部改正

補正額	条 例
36万7千円 増額	（改正内容）歳入においては、一般管理費（人件費）が増額されました。

●大和村税賦課徴収条例の一部改正

（改正内容）	（改正内容）
（改正内容）歳入においては、一般会計からの繰入金が増額され、歳出においては、一部供用開始に伴う設置助成金等が増額されました。	（改正内容）歳入においては、一般会計から繰入金が増額され、歳出においては、一部供用開始に伴う設置助成金等が増額されました。

●平成27年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号補正）

補正額	（改正内容）
36万7千円 増額	（改正内容）歳入においては、一般管理費の減額や介護予防サービス給付費等が増額されました。

（改正内容）	（改正内容）
（改正内容）歳入においては、一般管理費（人件費）が増額されました。	（改正内容）歳入においては、一般会計繰入金及び委託料の増額、歳出においては、一般管理費（人件費）が増額されました。

●鹿児島県市町村総合事務組合の共同処理する事務及び組合規約の変更

（改正内容）	（改正内容）
（改正内容）同組合が共同処理している事務の一部に係る組合市町村に、垂水市及び伊佐北姶良火葬場管理組合を新たに加える内容の改正です。	（改正内容）今回の改正内容は、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号利用等に関する法律が公布されたため、「住所及び個人番号」に改めるものです。

●その他の

（改正内容）	（改正内容）
（改正内容）今回の改正内容は、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号を改正するものです。	（改正内容）今回の改正内容は、津名久防災会館完成に伴い、設置及び管理に関する条例を改正するものです。

議会の動き

[9月]

- 第3回大和村議会定例会（開会）
- 決算審査特別委員会（現地調査）
- 決算審査特別委員会（一般・特別会計）
- 定例会（一般質問）一部夜間議会
- 定例会・最終本会議（閉会）

[10月]

- 奄美・やんばる広域圏交流推進協議会（徳之島町・議長）
- 所管事務調査（宮崎県・日之影町）
- 第53回村民体育大会（大和校・議員）
- 離島議長行政調査（長崎県対馬・議長）
- 国民文化祭オープニングフェスティバル（奄美市・議長）

[11月]

- 監査委員研修会（宇検村・監査委員）
- 第2回組合議会（鹿児島市・議長）
- 一部事務組合議会（奄美市・衛生組合・消防・介護・農業共済）
- 第34回離島振興市町村議会議長全国大会（東京・議長）
- 第59回町村議会議長会全国大会（東京・議長）
- 大和村国民文化祭（村体育館・議員）
- 板橋区議会議員との意見交換会（役場・議員）
- 大和村合同金婚式（村体育館・議員）
- 南部議会連絡会役員会（奄美市・議長・副議長）
- 大島本島南部振興協議会要望活動（鹿児島市・議員）
- 第2回ジヨギング大会（村体育館・議員）
- 議会運営委員会（議員控室・運営委員）

[12月]

- 4日 県町村議会理事会（和泊町・議長）
- 1日 各種協議会（和泊町・議長）
- 30日 県町村議会理事会（鹿児島市・議長）
- 29日 大島本島南部振興協議会要望活動（鹿児島市・議員）
- 26日 議会運営委員会（議員控室・運営委員）
- 25日 第2回ジヨギング大会（村体育館・議員）
- 20日 大島本島南部振興協議会要望活動（鹿児島市・議員）
- 15日 南部議会連絡会役員会（奄美市・議長・副議長）
- 10日 大島本島南部振興協議会要望活動（鹿児島市・議員）
- 1日 大和村合同金婚式（村体育館・議員）

表彰（写真左側から順に掲載）

宮田 到 議長	全国町村議会議長会表彰 (町村議会議長7年在職、町村議会議員27年在職)
民 文忠 副議長	鹿児島県町村議会議長会表彰 (町村議会議員15年在職)
池田 幸一 議員	全国町村議会議長会表彰 (町村議会議員15年在職)
今井 秀樹 議員	全国町村議会議長会表彰 (町村議会議員15年在職)



編集後記

村民の皆さん山々の新緑の息吹と共に平成二十八年度がスタートしました。今回の議会だよりは二回分を掲載しました。少しでも皆さんに早く届けられるように、広報委員会としても努力していきたいと思います。私ども四年に一度の改選の時期を迎えます。村の発展、福祉の向上を目指し頑張つていく所存です。皆様方のご支援ご指導を賜りましようお願い申し上げます。

さて、スマモの実も小指大から少しづつ大きくなりかけています。ミカンコミバエの発生が心配されていますが、村民一体となつて駆除に取り組んでいきましょう。果樹の村大和村の名の下に。

〃〃 広報委員長
池田 奥 藏 民
幸 忠 廣 正 文
田 忠